

重点目標Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成

施策の方向 1 固定的性別役割分担意識に基づく慣行の改善

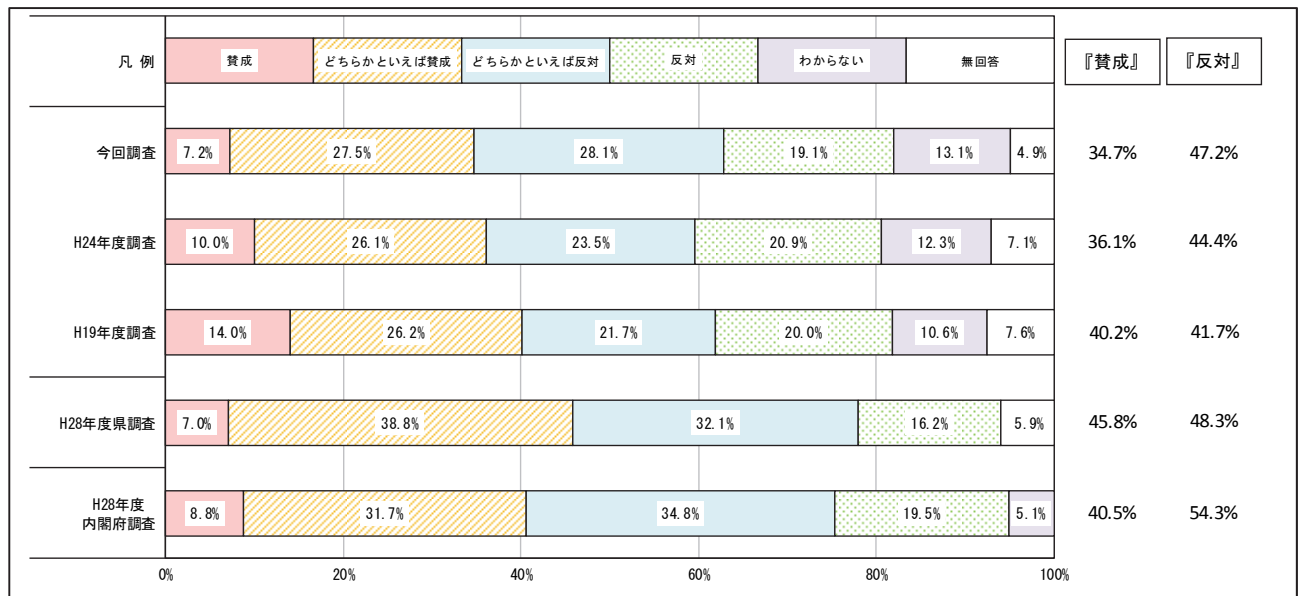
社会の制度や慣行には、本来尊重されるべき性別にかかわらず多様な生き方の選択を妨げ、男女共同参画社会の形成を阻害する要因となっているものがあります。

このような制度や慣行は、多くが固定的性別役割分担意識に基づき形成されており、暮らしの隅々に関わっていることから、人々の意識に大きな影響を及ぼしています。

市民意識調査の結果では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的性別役割分担意識については、反対（「反対」と「どちらかといえば反対」の合計）の割合が47.2%となっており、前回調査（44.4%）と比較すると2.8ポイントとわずかながら増加しており、意識の変化はみられるものの、県調査（48.3%）や全国調査（54.3%）と比較するとその割合は低くなっています。

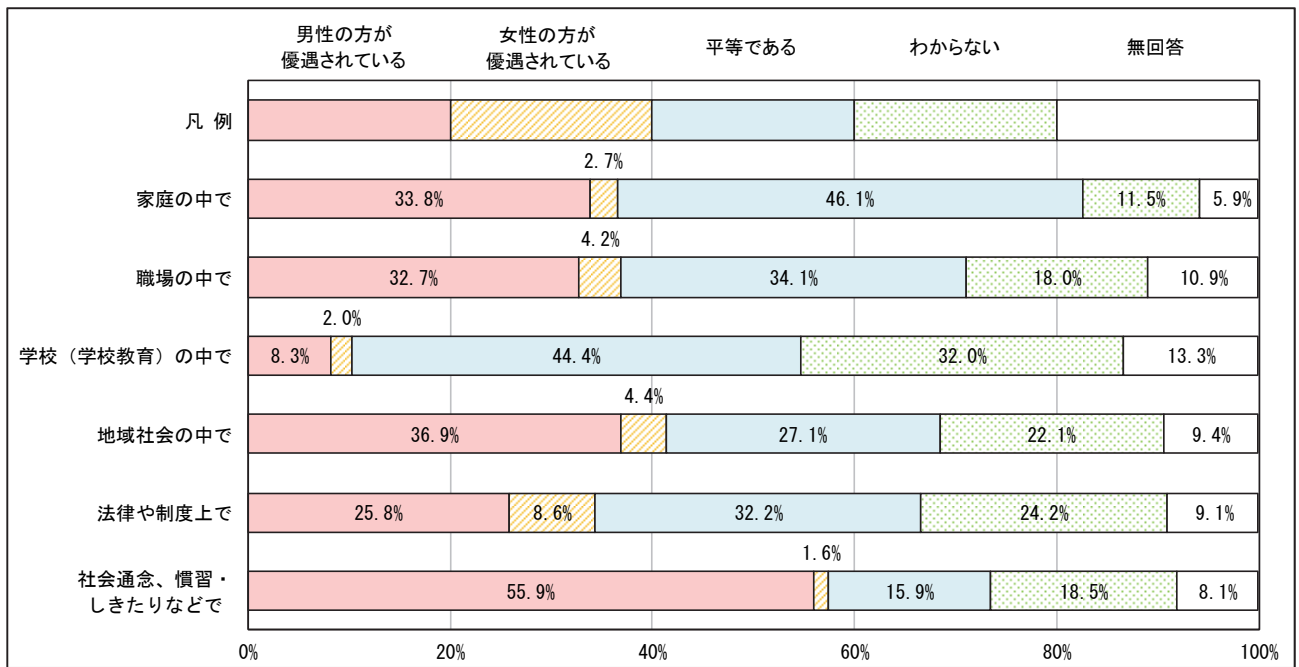
また、男女の地位の平等感については、「社会通念、慣習・しきたりなどで」で55.9%、次いで「地域社会の中で」で36.9%の人が「男性が優遇されている」と回答しており、あらゆる分野における慣行の見直しや改善につながるよう、男女共同参画社会の形成を阻害する固定的性別役割分担意識の解消に向け、多様な機会を捉えた啓発を推進します。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



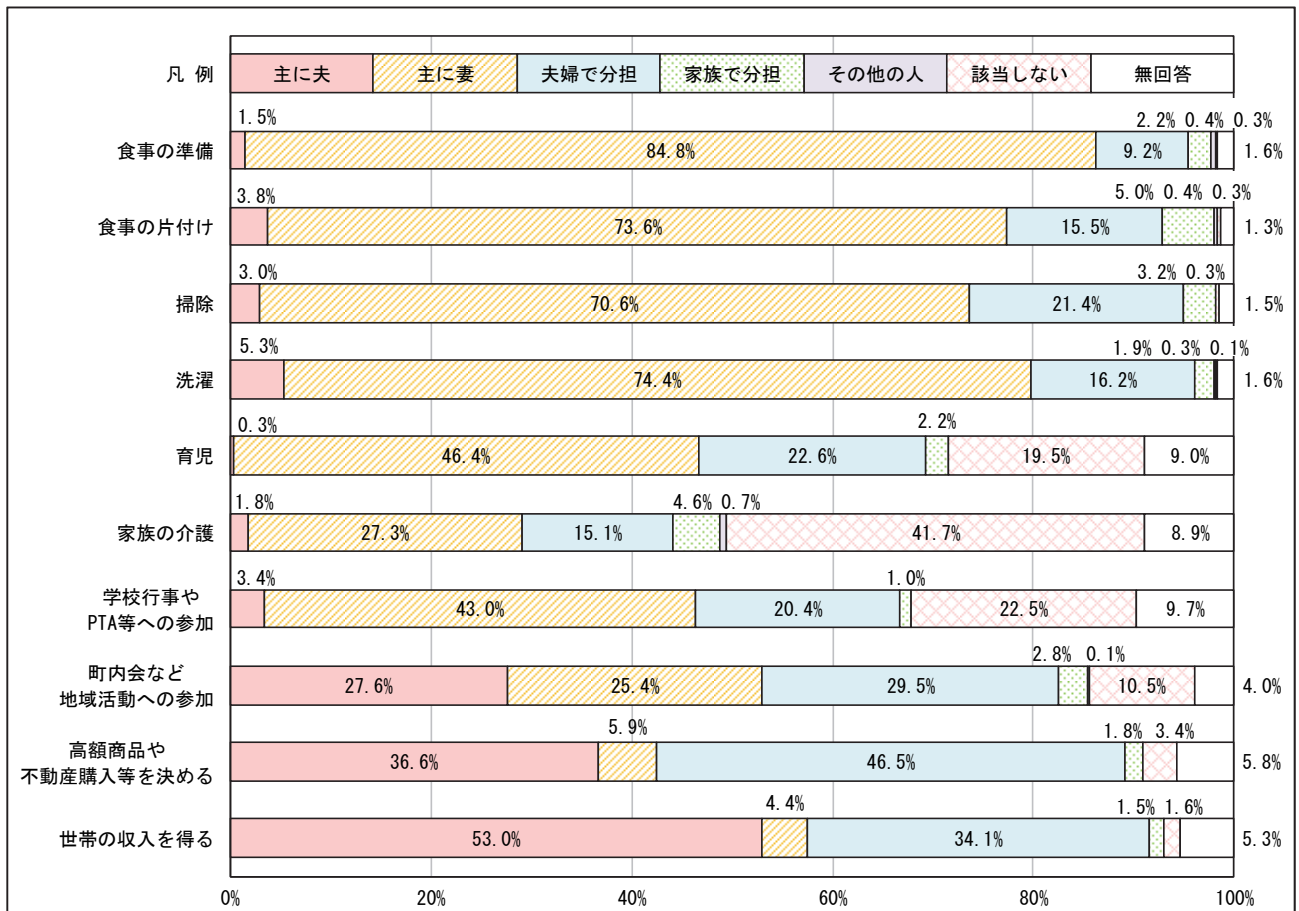
（平成 29 年鹿屋市男女共同参画に関する市民意識調査）

各分野における男女の地位の平等感(全体)



(平成 29 年鹿屋市男女共同参画に関する市民意識調査)

家庭における役割分担



(平成 29 年鹿屋市男女共同参画に関する市民意識調査)

具体的施策	施策の内容
男女共同参画についての正しい理解の浸透を図るための広報・啓発の推進	男女共同参画についての正しい理解の浸透が図られるよう、あらゆる機会を捉えて広報・啓発に取り組みます。また、公的広報・出版物等の発行に際し、固定的性別役割分担意識が助長されることがないように配慮します。
固定的性別役割分担意識に基づく制度や慣行の見直し	あらゆる分野における固定的性別役割分担意識に基づく制度や慣行の見直しにつながるよう、男女共同参画に関する情報提供や学習機会の提供に取り組みます。

主な事業	○「家庭教育ガイド」や「K a n o y a 男女共同参画N e w s」を活用した広報・啓発 ○「人権同和問題啓発強調月間」や「人権週間」の周知
------	--

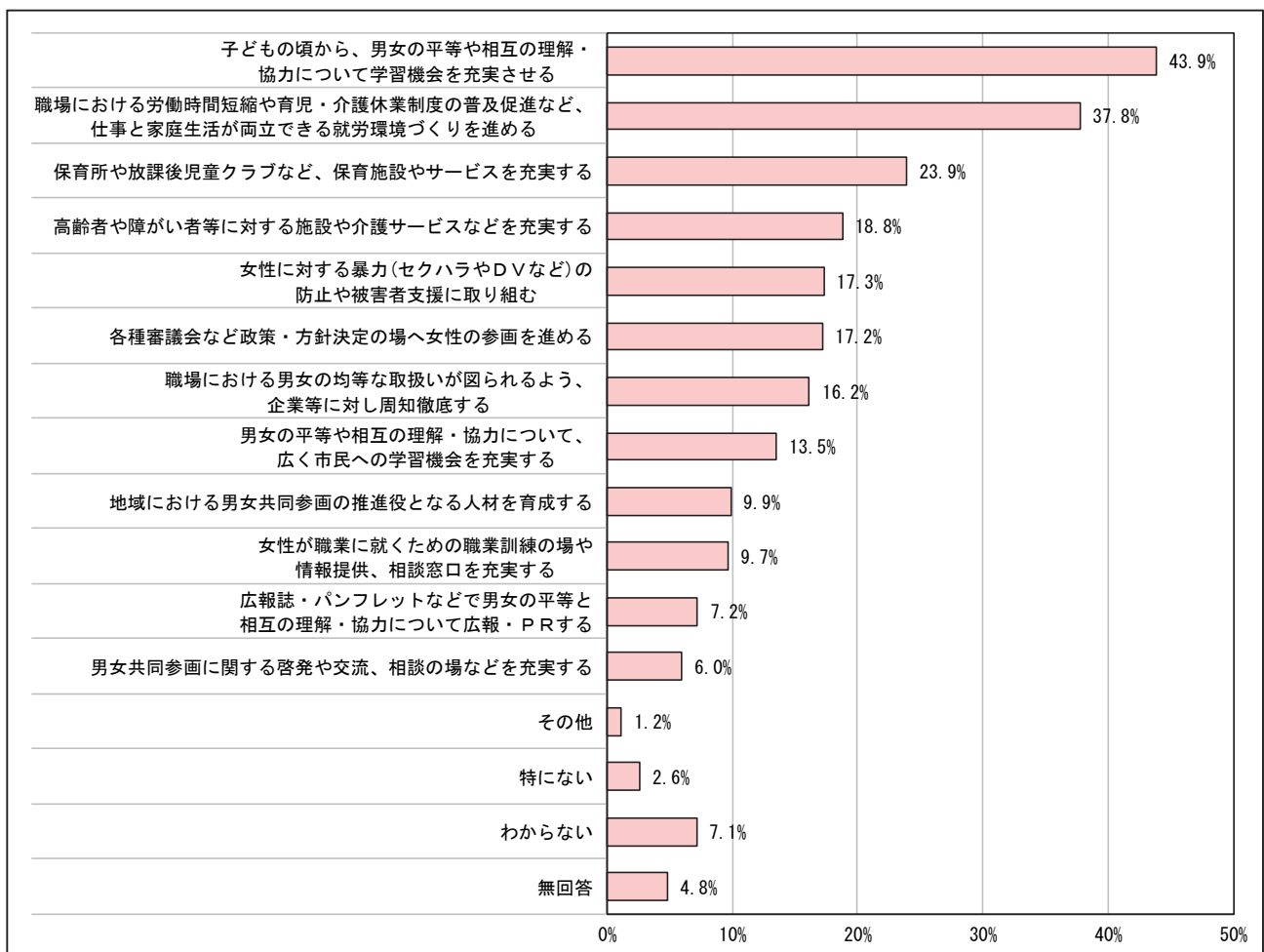


施策の方向 2 男女共同参画に関する教育・学習の推進

男女共同参画社会の実現に向けた取組の基盤となる市民一人ひとりの男女共同参画についての理解の深化を促進するため、学校、家庭、地域、職場などあらゆる分野において、相互の連携を図りつつ取組を進めるとともに、その内容のさらなる充実を図ります。

中でも、市民意識調査の結果では、男女共同参画社会の実現のために必要なことについて、「子どもの頃からの男女の平等や相互の理解・協力についての学習機会の充実」と回答した人の割合が43.9%と最も高くなっていることから、学校教育活動全体が男女共同参画の視点で行われるよう、学校への支援の充実を図ります。

「男女共同参画社会」を実現するために行政が力を入れていくべきこと(全体)



(平成 29 年鹿屋市男女共同参画に関する市民意識調査)

具体的施策	施策の内容
学校における教育・学習の推進	子どもたちの男女共同参画意識に影響を及ぼす教職員等学校関係者が、男女共同参画について正しく理解するための情報学習機会を提供します。
家庭・職場・地域における理解の促進	あらゆる教育・学習の機会を捉えて家庭・職場・地域において男女共同参画に関する正しい理解の浸透が図られるよう広報・啓発に取り組みます。

主な事業	○市民向け講演会や市職員及び学校管理職向け研修会の開催 ○出前講座の受講推進とメニューの充実
------	--

